

早朝ランニング教室 百まで走ろう会

『南国市百まで走ろう会』（島井武義会長）では、このほど発足を記念して「早朝ランニング教室」を開催することになりました。

健康な体づくりのために、あなたも参加してみたいかですか。教室は、11月7日（日）から開校、来年3月までの毎週日曜日に開かれます。

■時間・朝6時30分～7時30分
■場所・市民体育館前に集合。体育館周辺を一周する約3.5キロのコース。老人や子供さんには近道コースを。雨天のときは館内で講師の指導によって体づくりを行います。

■対象・南国市に住んでいる人、職場のある人。
■受講料・学生、幼児を除き1人500円（スポーツ保険料300円を含む）
教室についてのおたずね、申込みは、岡崎邦矩（天行寺）まで。
☎（2）7152 なお、申込は市民体育館でも受付しています。

『老人洋上教室』

申込みは十一月六日までに

第四回高知県「老人洋上教室」に参加するお年寄りを募集しています。

これは、老人の社会研修と余暇活動を促進し老人福祉の向上を図ろうというものです。今回は、志摩・南紀へ。内容としては、洋上研修、老人福祉施設の見学、他県老人との交流親善、名所旧跡探訪などが予定されています。

■応募できる人は
日本国籍であり、高知県内に居住する六十歳以上（昭和五十一年

月日	行	計	画
12月8日（水）	高知港屋敷集合、結団式、乗船	15:14	00:00
12月9日（木）	高知港出港、船中泊	7:00	30:00
12月10日（金）	名古屋港着、下船 伊良湖着（伊良湖ビューホテル泊）	17:30	30:00
12月11日（土）	伊勢港伊勢港フェリー 伊勢港宮参拝、施設見学、交流 鳥羽着（池の浦荘泊）	17:11	00:30
12月12日（日）	宿舎発、松阪、尾張橋、那智の滝、大社見学 高知港着、船内研修 高知港着、解散式	18:00	00:30

十一月一日現在で、団体生活に適応できる健康な人。ただし、すでに本教室および高知県青年の船に乗船したことのある人は除く。

■募集人員
定員は三百人、南国市からは十一人。応募者が多い場合は選考します。

福祉事務所社会係

年賀ハガキの発売

十一月五日からお年玉つき年賀ハガキを発売します。

寄付金つき二十一円と寄付金なし二十円の一種類です。今年の発売枚数は去年より大分少なくなっていますので、売り切れないうちに早めにお求めください。

南国郵便局

税金 農耕作業用自動車の申告

農耕作業用自動車（乗用トラック）およびコンバイン）については軽自動車と同じく標識をつけなければなりません。

市では、現在まで調査した結果に基づいて各所有者に葉書でお知らせし、標識を交付していますが、なお調査もれが生じることも考えられます。税の公平課税とならなければなりませんので、現在この機械を所有している

農耕作業用自動車（乗用トラック）およびコンバイン）について申告をお願いします。申告を必要とする機械は、乗用型のトラックとコンバインです。なお、この機械に年間千二百円の軽自動車税が課されることになりました。くわしくは税務課へおたずねください。☎（3）2111（内線125、155）（有）2051 税務課

貸付 農林業小口資金の貸付

五十一年度の農林業小口資金を貸付することになりました。

これは、同和地区内に住んでいる農業者を対象に、農林業の経営の改善と所得の増大を図るため、経営、施設の設置、機械や資材の購入などに要する資金を貸付するものです。

■貸付限度額
一世帯当たり十万円以内

■貸付利率・無利子

■貸付期間・貸付日より一年以内償還方法
一時払いもしくは半年払い

■本年度貸付総額・百五十万円

■申込締切・十一月二十日まで

■貸付は十二月中旬の予定

申込用紙は産業経済課もしくは福祉館にあります。くわしいことは産業経済課までおたずねください。

産業経済課

野犬 不要犬の買上げを一時中止

毎月一回市役所で行っている不要犬の買上げを一時中止しています。

これは、高知市にある犬を処分する野犬抑留所が先の台風十七号の豪雨により土砂に埋没し

公畜環境課

税金 所得税二期分は十一末日までに

十一月は、所得税の予定納税第二期分を納めていただく月です。

期限を過ぎて納付されますと、延滞金など余分な税金まで納付していただくこととなりますので、第二期分の予定納税額のある人は、十一月二十日までに納めていただくようお願いいたします。

また、十一月十一日から十七日までの一週間は「税を知る週間」です。みなさんに税のことをよく知っていただくよう、全国の国税局や税務署でいろいろな行事が催されます。

税金の仕組みやほたらき、使いみちなどを知るためにご利用ください。

南国税務署

市展 あれこれ



第十六回南国市展もま近にせまってきた。このへんで「市展の歩み」、「活躍する人びと」などについて記してみるのも意義のあることではないだろうか。

市展は、市が発足してまもなく、美術を愛する人々が努力してはじめたもので、第一回展は昭和二十六年で、無審査であった。第二回展で入選賞を、第三回展で優秀賞を設けた。現在の特選、褒状、入選の制度ができたのは第四回展からである。また、現在と同じ六部門制となったのは第六回展からである。そして、第八回展で書道部門に二人の市展初の無審査資格者が誕生した。

船入川改修工事にご協力を

山田堰井筋土地改良区では、組合員の要望に基づいて、山田堰および関係井筋の用排水路の改修工事を昭和四十三年度から県営土地改良事業として、工事を進めています。

今年も舟入井筋について、土佐山田町松本部落内の五十年度施工済終点から包末の竹黒川分水点まで、および後免中町の忠次分水点から篠原の一本松附近までの間に、十一月一日から来年三月十日まで、舟入川本線を断水して工事をを行います。

現在、無審査の栄誉を獲得しているのは洋画部門の島村義一、田島啓己、武内光仁、細川義彰、橋詰正利、山崎次、日本画部門の橋詰正利、書道部門の川内悠溪、弘末映翠、漫画部門の沢本英世、写真部門の原孝士、水田貴士、土居正道の十二人である。これらの諸氏が南国市展を代表する人びとであり、市展の中核として推進の基礎をなしている。今後とも技術の向上、後進の育成等に一層の努力を望みたい。

また、これらの人びとに続く者として洋画部門の吉川秀子、関敏夫、田島栄、南武志、宮崎寿子、日本画部門の伊尾木正太郎、工芸

関係の住民のみならず、農業用水、家庭の雑用水、工事による騒音、交通面などで、期間中には多少のご不便をおかけしますが、市の中心部を流れる舟入川を整備して、用排水の改良と街の美化を行う工事でありますので、工事が円滑に進められるようご協力をお願いいたします。

南国耕地事務所

か、褒状、特選をねらい、さらに無審査をめざしてお互いがしのぎをけするところにこそ展覧会の意義があると思う。

ただ、入選は比較的易く、入選率は全部門平均で七割弱でかなりの寛選であるが、市展の性質上、

また地方文化の振興上（底辺拡大）やむを得ないものと思われる。また、出品点数は全部門で毎回五十点ぐらいの増加傾向にある。

ところで、南国市展は他市町村にはない漫画の部があることで知られているが、この表が示すように出品数が少ないのが残念である。しかし、その灯はいつまでも絶やしたくないものである。

また、美術を愛する人々がはじめた市展がここまで成長し、地方文化の振興にいささかなりとも貢献していることを思うとき、先人の努力とこれを守りつづけてくれた市民の協力があつたことを私達は忘れてはならないと思う。

市民のみならず多数の出品を心よりおまちしています。

（文中敬称略）
教育委員会

部門	出品数	入賞数	特選数	入賞率(%)	特選率(%)
洋画	70	7	3	10.0	4.3
日本画	33	3	1	9.1	3.0
工芸	57	6	1	10.5	1.8
漫画	9	1	1	11.1	11.1
書道	38	7	2	18.4	5.3
写真	198	14	5	7.0	2.5
計	405	38	12	9.4	3.0

老人医療費受給者のみなさん、十月一日から老人医療費請求書が不要になりました。市民課給付係